

デジタル時代の人材戦略 ～海外におけるトレンドと事例紹介～

2020年2月17日
電通イノベーションイニシアティブ

プレゼン概要

- ✚ 産業構造の変化の結果、世界的な「デジタル革命+人材不足」が加速
 - デジタルシフトに適応した「未来人材」の採用はますます困難に
 - 世界の企業のリーダーも、人材不足を企業成長の一番のリスクと回答
 - 日本でも人材不足、新規雇用者の実践スキル不足が課題
- ✚ 不足する「未来人材」を確保するための世界の2つのトレンド
 - ① 労働条件・働き方の多様性を推進 - 高度スキル人材の「Gig エコノミー」台頭
 - ② 社員スキル強化プログラムの拡充 - 社員確保のためのリスキリング・アップスキリング
- ✚ リスキリングの導入事例：解雇⇔採用に代わる手法として、世界各国の企業が導入
 - 事例: 銀行やコンサルティング、テック企業による採用
 - 事例: 自動化により職を失う可能性が高い社員へのリスキリング (CSR 的側面)
- ✚ 新時代の人材戦略シフトに必要な組織のスキルマッピング
- ✚ リスキリング・アップスキリングモデルは行政・企業にとって有益
- ✚ 働きながらの継続的なスキル習得を促進するための海外の政策事例
 - フランスの職業訓練システム
 - 欧州のアプレンティスシップ(徒弟)プログラム
 - マレーシアの職業訓練プログラムの強化政策
- ✚ 世界トレンドからの考察
 - 人事エンパワメント、労働流動性を生み出すためのスキルトレーニング、適応力をはじめとしたソフトスキルの重視が長期的な競争力を強化するための鍵